

学校だより 10月号

令和5年10月2日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

おさない かけない しべらない もどらない



安全に生活するために

校長 棚澤 大輔

今年は9月になっても強い日差しとともに高い気温に悩まされる日々が続きましたが、ようやく三連休明けあたりから朝夕の涼しさを感じる時季となりました。小谷地区でも一部稲刈りが始まり、虫の声も聞こえてきています。いよいよ秋到来ですね。

さて、本校では2学期に入ってすぐに、立て続けに自分の身を守る訓練を二つ行いました。8月31日の不審者対応訓練と9月1日のシェイクアウト訓練です。

不審者対応訓練では、本校昇降口から不審者が侵入しようとしているという想定から、教職員の対応の在り方と子どもたちの避難行動の確認をしました。さすまた等を使って不審者と対峙する者や、警察、教育委員会への連絡を行う者、そして、何より各場所で子どもたちを守る行動をとる者など役割を分担して対応するとともに、子どもたちの安全を確保するために体育館へ移動する避難方法を確認しました。

また、シェイクアウト訓練とは、関東大震災から100年を契機に、埼玉県議会議員が中心となって県内に働きかけられたもので、県内で一斉に防災訓練を行い、県民の「自助」「共助」の意識向上を図るため実施されたものです。本校もこれに参加し、時間に合わせて放送による避難行動を呼びかけ、一斉に机の下にもぐる行動をとりました。

本校の子どもたちはこれまでの経験をもとに、落ち着いて決して騒がず、整然と避難することができていました。これまで継続して行ってきた訓練の賜物です。

ただ、「もし在宅中であつたなら」、「登下校の途中であつたなら」等々、いろいろな場面での対応も考えていく必要があります。学校では、いくつかの避難方法について確認をしていますが、すべての場面を網羅することはできません。そこで大切なことは、災害発生時に、災害の内容に応じて、考えられる危険性はどんなことなのかということを想像する力を身に付けさせていくことだと考えます。「地震が起きたら机の下に隠れます。」だけでなく、「ここで大きい地震にあつたら、どんな危険性が考えられるでしょう。」と問いかけ、考えさせていくことで、いざ災害にあつた際にどんな行動をとるか考えられる、そんな指導を心がけています。

また、本校の通学区域は広く、登下校で歩く距離が長い子もあり、交通安全に気を付けていかなければなりません。また、学区内には河川や水路があり、水難事故にも留意する必要があります。そうした学校内外の災害等の危険性について、学校では適宜子どもたちに指導しています。スクールガードリーダーの橋本様や交通指導員様、小谷っ子見守りたいの皆様をはじめとする地域の方々にも大変お世話になっておるところですが、「子どもだから」といってただ守られる存在ということではなく、この社会で生きていく者として、自分の身を自分で守る行動がとれるようになってほしいと考えています。ぜひ、ご家庭や地域の中でも、そうした目線で子どもたちの見守りや声かけをお願いできたらと存じます。

最後に、本校では先日「思いやりキャンペーン集会」を実施しました。この集会は本校の特色ある教育活動の一つである「思いやりキャンペーン」の口火を切るものです。

お互いに「言われてうれしい」言葉が飛び交い、常にシャワーのように子どもたちに降り注ぐ、そんな環境を本校では目指していきます。時には「うれしくない」言葉も聞かれるかもしれませんが、その時こそ相手の気持ちを考えるよい機会とし、みんなで成長していけたらと考えています。「言われてうれしい」言葉に包まれることで、思いやりをもち望ましい人間関係が築ける小谷っ子となるよう、教職員一同指導を続けてまいります。保護者の皆様や地域の皆様にもご協力いただければと存じます。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

